

在学生、保証人の皆様へ

アンケート結果を踏まえた今後の教育への取り組みについて

東京電機大学

本学では、今年度の前期の授業期間中に、学生の皆さんを対象としたアンケートとして、経年で学期ごとに実施している「授業アンケート」と今年度の遠隔授業(オンライン授業)において「遠隔授業に関するアンケート」を実施しました。

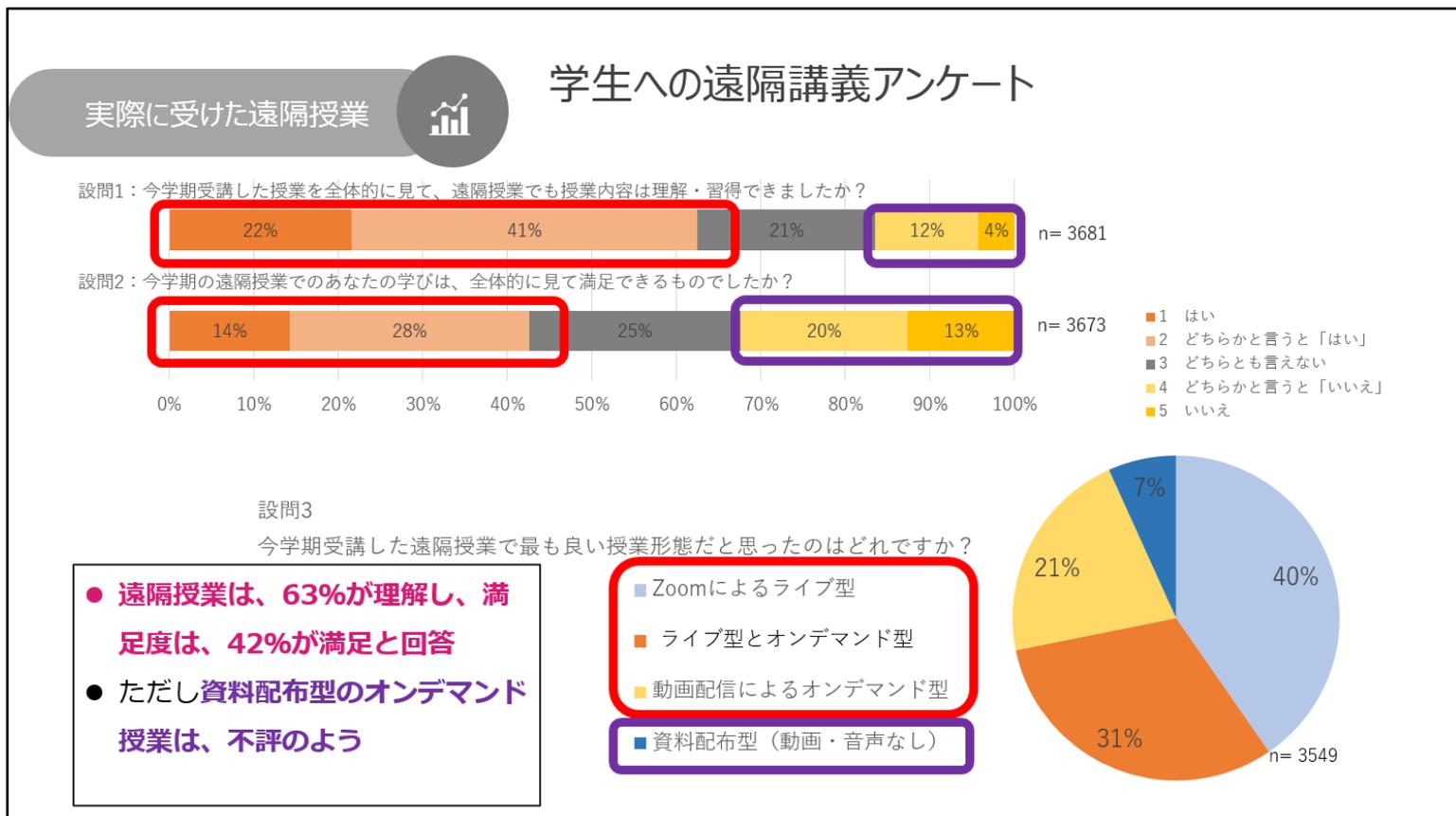
これらのアンケート結果については、前期の授業運営を振り返り後期の授業をより良くするため、教員、事務職員で情報を共有し、本アンケート結果を踏まえた教員FD(教育能力を高める研修)を9月に複数回実施し、今年度後期以降の学習環境の改善を図っています。

このうち、アンケート結果の一部について、在学生、保証人の皆さんに、以下の通り報告します。

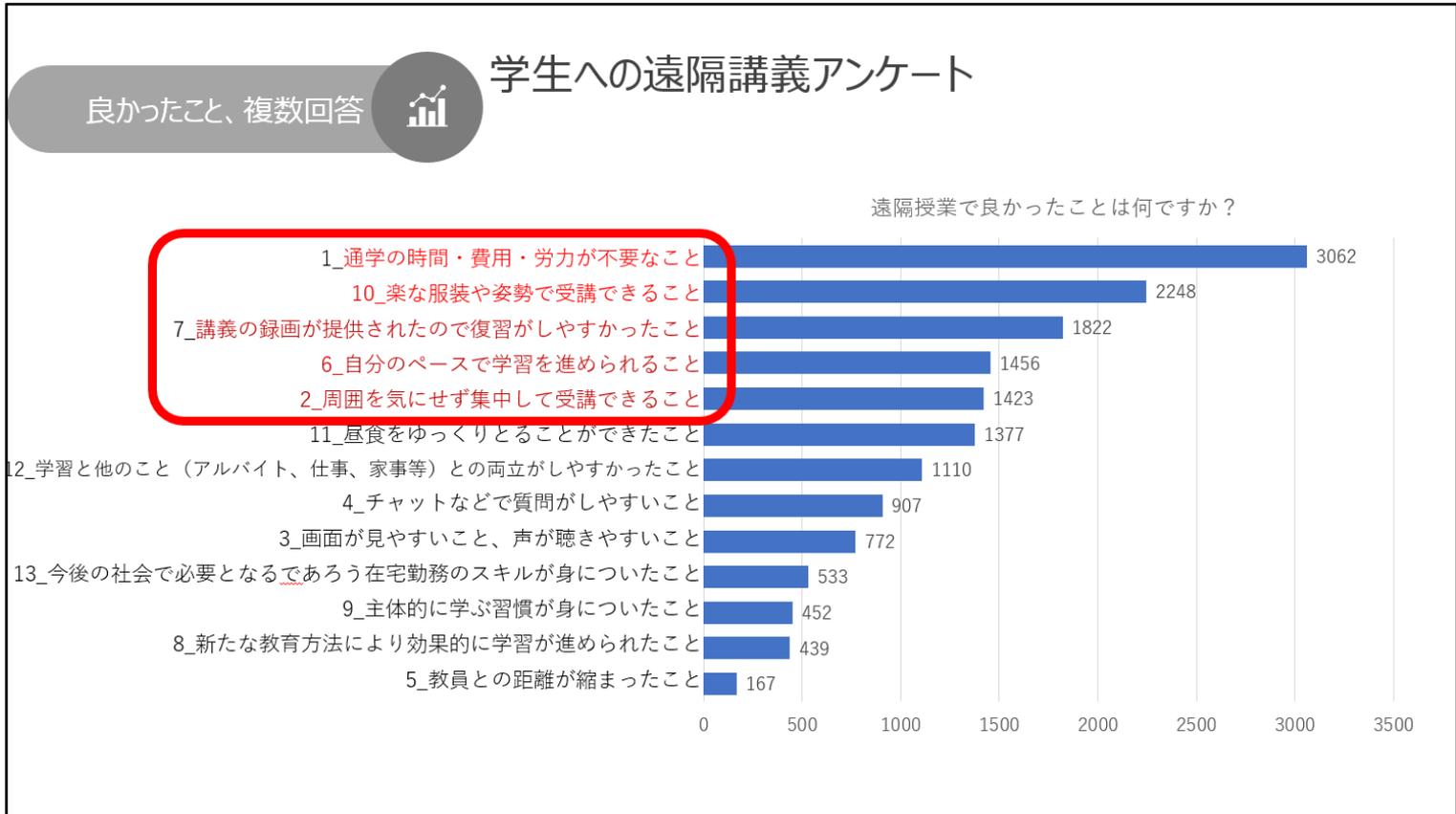
「遠隔授業に関するアンケート」において、「遠隔授業でも授業内容は理解・習得することができましたか?」の設問では、63%が肯定的な回答、16%が否定的な回答となりました。

その満足度については、42%が肯定的な回答、33%が否定的な回答と、こちらは比較的意見が割れました。

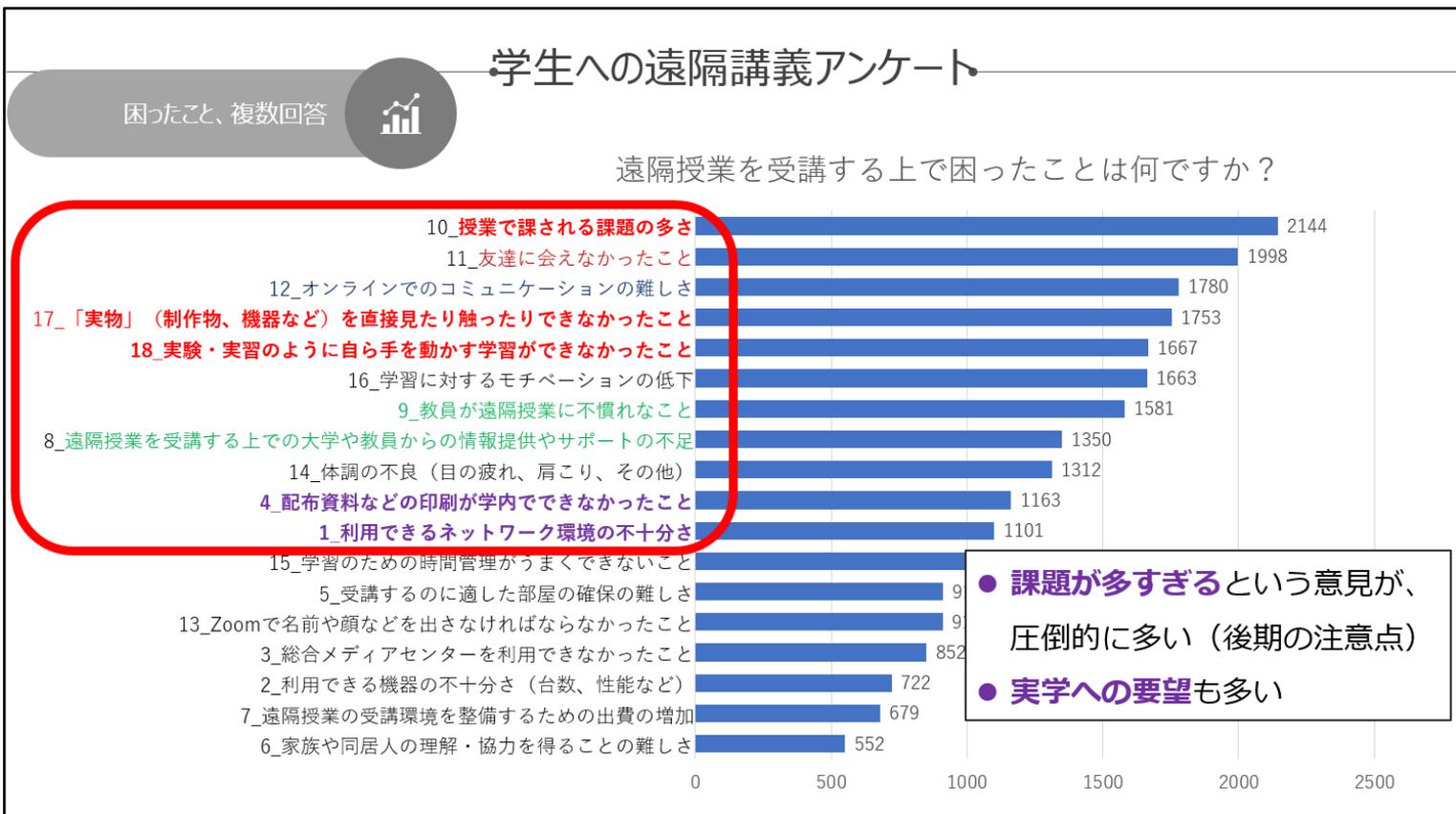
遠隔授業の実施形態についても意見を伺い、以下のグラフのような結果が出ています。



「遠隔授業に関するアンケート」において、「遠隔授業で良かったことは何ですか？」の設問では、ライブ型授業とオンデマンド型授業の形態を提供できたことで、講義の録画が提供されて授業の振り返りが可能となり、効果的に学習を進めることができた等の意見をいただいております。



一方で、「遠隔授業に関するアンケート」において、「遠隔講義を受講する上で、困ったことは何ですか？」の設問では、「受講スタイルが変更になったことによる戸惑いや提出課題の多さ」、「友人に会えない」、「実験・実習で実物に手を触れる自ら体験する学習ができなかった」について、多くの意見をいただきました。



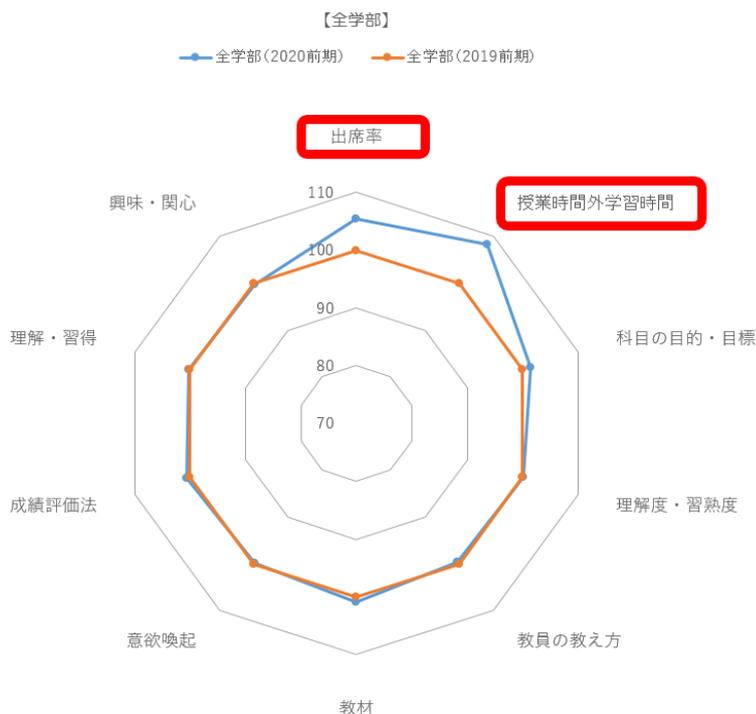
次に、学期ごとに行っている「授業アンケート」の比較では、授業に対する満足度については、昨年の対面授業時の結果と比較するとやや向上しているかほとんど変わらない結果となっていますが、授業時間外の学習時間が大きく拡大しています。

## 全学部

全てのデータを集計すると

- 出席率が前年度比5%向上。
- 授業外学習時間も前年度比8%と大きく拡大した。
- 他の項目は変化はあまり見られない。

- 全体的に、授業に対する満足度は、昨年のデータとほとんど変わらない。その中で**授業への出席率と授業外学習時間は、大きく向上している。**
- ただし、自由記述欄には、**オンデマンド授業への不満や、課題の多さへの不満の記載が、比較的多く見られる。**



後期の本学の授業につきましては、既にご案内のとおり、講義科目においては「オンライン授業」、実験・実習科目においては「オンライン授業を中心に授業を行うが、一部の実験・実習科目は感染症の拡大防止に留意して対面で実施する」こととしております。

本学の建学の精神である「実学尊重」を実現すべく、「実際に手を動かし」て「実体験」できるよう一部の実験・演習科目を新型コロナウイルス感染症への対策を講じた上で、開講する体制を整えました。なお、登校が困難な場合は、遠隔での代替受講も準備しています。また、後期授業開始と併せ、予約制で図書館エリアの一部について、研究・学修のための座席利用、分散登校時でのオンライン授業の受講に利用できるように運用を再開しています。

現時点では登校者を制限する分散登校ではありますが、今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を講じ、皆さん一人一人の学習環境をより良いものにするために、大学全体として取り組んでいきます。

以上